

(様式1)

県立高等学校重点校制度に係る事業計画書

学校名 倉吉東高等学校

重点項目	大学進学	提出日	平成31年2月18日
------	------	-----	------------

1 学校目標

「倉吉東高のかたち」の理想に沿った様々な教育活動を充実発展させるとともに、主体的な学習者・21世紀の日本を支え、世界をリードする高い志を持った人材の育成をめざす。

2 重点項目に係る目標

・中部地区を代表する進学校として、国公立大学等を中心とした大学への進学に対応した教育課程編成に努め、生徒の着実な学力の伸長を図るとともに、生徒・保護者・中学校などからの期待にふさわしい進学実績を維持し、さらなる向上をめざす。

<数値目標>

- ・国公立大学現役合格者数125名以上。
- ・中堅国公立大学以上現浪合格者数60名以上。(現役合格者数45名以上)
- ・難関大学現浪合格者数20名以上。(現役合格者数15名以上)
- ・東京大学現浪合格者数5名。(現役合格者数3名以上)

	現役合格者数	実績			現浪合格者数	実績		
		H29	H28	H27		H29	H28	H27
国公立大学	125名以上	110	119	140				
中堅国公立大学	45名以上	19	25	37	60名以上	44	30	51
難関国公立大学	15名以上	9	7	16	20名以上	14	8	24
東京大学	3名以上	0	0	2	5名以上	1	1	5

3 事業計画(事業名、事業概要)

【高等学校課事業】

■学校連携チャレンジ・サポート事業

鳥取県高等学校合同東京大学対策講座、1年生難関校志望者学習研修を、鳥西生、米東生をはじめとする県下の超難関大学志望者とともに受講、研修を重ねることで、本校超難関大志望者の学習意欲を高めると共に、参加校の教職員との情報交換ならびに本校教職員の教科指導力の向上を図る。

■鳥取県版キャリア教育推進事業

文理選択とキャリア形成(1年)、学部学科研究と進路選択(2年)、大学受験の現状と大学での学習内容(3年)のそれぞれについて、有識者や大学職員を招いて講演を行うことで、生徒の目標設定や意識付けを図る。

(様式1)

【独自事業】【 】内の記号は平成31年度学校運営方針に基づく各種事業計画一覧(図1.)より引用

■難関校ゼミ訪問【B-1(1)②】

1年次トップクラスの生徒を中心に高い志を持たせ、グローバルな研究に触れることで、日本のみならず世界に貢献しようとする志を育成するとともに、東京大学を第1志望校とする進学意欲を創る。

■第3学年勉強会【B-1(2)①】

3年生の部活引退後の夏季休業中に、規則正しい学習を中心とした集団生活をおくり、集中力・持続力を養い、受験科目に対する弱点補強を重視し、学力の伸長を図ると同時に、自学自習に対する自信を持たせる。

■進路指導資料の充実【B-1(2)②】

大学の資料や最新の過去問題を参考にすることにより、進路意識を高め、生徒が目標に向かい学習する一助とする。

■教職員の大学訪問【B-2(4)①】

実際に大学の学風・構成・講義・研究内容の実態を知り、新しい入試制度においてその大学が具体的にどのような学生を求めているか、どのような研究を得意分野としているかを知るために、教職員が実際に大学訪問する。そして、教授等から得た情報を蓄積し時代に即した進路指導力につなげる。

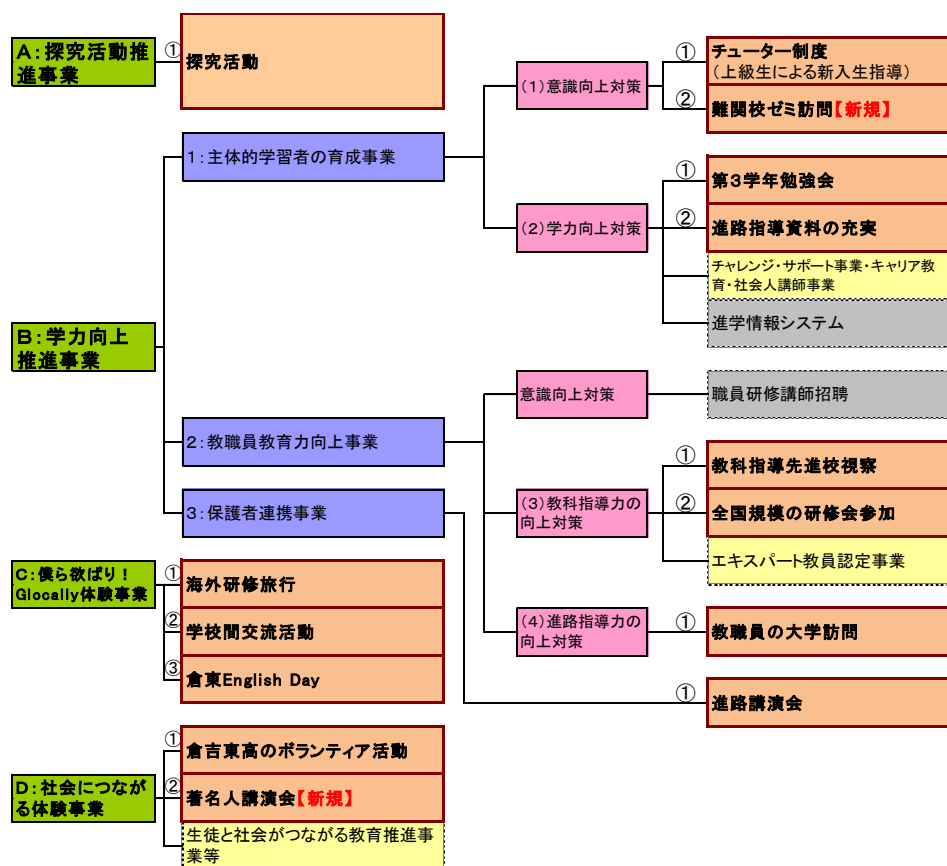


図1. 平成31年度学校運営方針に基づく各種事業計画一覧